

わくわく

11月号

本だな

1 2 3 年



えほん

E 『かしたつもり×もらったつもり』

かさいまり／さく 北村裕花／え くもん出版  
れんは、なかよしのだいちに、大切なきょうりゆう図かんをかしてあげました。ところが、だいちは、れんから図かんをもらったつもりです。聞きまちがいからけんかしてしまったふたり。なかなかおりのできるのでしょうか？

K913 『山のトントン』  
やえがしなおこ／作 松成真理子／絵 講談社  
山のふもとにすんでいるトントンは、元気なくまの子どもです。ある日、大すきなドーナツのとりあいで、おにいちゃんとけんかになりました。お父さんにおこられて、おにいちゃんといっしょに、家をおいだされてしまいます。

ものがたり



K913 『AIロボット、ひと月貸します！』

木内南緒／作 丸山ゆき／絵 岩崎書店  
栄太の家に、AI ロボットがやってきました。分身ロボットで、見た目は栄太にそっくりですが、中身は栄太よりゆうしゅうです。算数のテストの日、栄太はロボットを学校に行かせて一日じゅう家でだらだら。でも、ちょっぴりふあんになってきました。

ものがたり

K478 『ひろった・あつめたぼくのマツボックリ図鑑』  
盛口満／絵・文 岩崎書店  
形もしゆるいも、いろいろなマツボックリ。こっちは小さい。あっちのはトゲトゲ。リスにかじられて、エビフライのようなマツボックリもあります。公園でひろったものと、海岸でひろったものをくらべてみても、楽しいですよ。

ちしきのほん



わ く わ く

11月号

本 だ な

4 5 6 年



物語

K943 『 ぼくのあいぼうはカモノハシ 』

ミヒヤエル・エングラール／作 はたさわゆうこ／訳  
杉原知子／絵 徳間書店

ルフスは、ドイツに暮らす男の子。パパが仕事で何カ月もオーストラリアにいるので、さびしい思いをしています。

そんなある日、人間の言葉をしゃべるカモノハシに出会いました。カモノハシは、「ふるさとのオーストラリアへ帰るのを手伝ってほしい」と言います。そこで、ふたりでオーストラリアに行く作戦をたてます。

K913 『 科学でナゾとき！ わらう人体模型事件 』

あさだりん／作 佐藤おどり／絵 偕成社

カッコよくて頭もいい児童会長の彰吾には、ひみつがあります。理科の特別講師として小学校にやって来た、変人のキリン先生が、実は父親なのです。

彰吾は、だれもない理科準備室で、人体模型のわらい声を聞きました。キリン先生の科学的なアドバイスで、このなぞを解き明かすことができるのでしょうか。

物語



ちしきの本

E 『 細菌ホテル 』

キム・ソソファ、クオン・スジン／文 キム・リヨンオン／絵  
猪川なと／訳 岡田晴恵／日本語版監修 金の星社

わたしたちの体重の10ぶんの1は細菌です。細菌は、かみの毛や鼻の穴、わきの下や足の指の間にいます。もしも、細菌がまったくいなくなったら、動物も人間もたちまち病気になってしまいます。

この本では、人間の体をホテルにたとえて、細菌たちのはたらきをしょうかいします。

図書館のまどぐちには、くみたとると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200